


 堺フェニックスロータリークラブ
 SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー	大澤 徳平
会長	吉川 美幸
幹事	田辺 弘樹
会報委員長	細川 浩二

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号
TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991
例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:ホテル第一堺
<http://www.sakaiphoenix.com>
rotary@sakaiphoenix.com

第685回例会

通巻652号

平成23年10月20日

2011～2012年度No. 15

本日の例会 プログラム(第 685 回例会)
2011年10月20日(木) 第15回例会
場所 料理旅館 玉川楼

秋の親睦家族旅行

次回の例会予告(第 686 回例会)
2011年10月27日(木) 第16回例会
club forum「職業奉仕活動」
松本 美和子 会員

次々回の例会予告(第 687 回例会)
2011年11月10日(木) 第17回例会
卓話
「第1220地区での活動報告」
2010-11年度国際親善奨学生
本間 祐子様

お客様のご紹介



地区青少年交換委員長
茂野 芳久様
2012-13年度長期派遣学生
高瀬梨紗さん
お母様 高瀬 明美様



10月13日にここにご報告

▶ 青少年交換スポンサークラブ及にホストクラブを引き受けていただきましてありがとうございます。宜しくお願ひ致します。

地区青少年交換委員長 茂野 芳久 様

▶ 今日は茂野様、高瀬様、ようこそおいでくださいました。梨紗様、頑張ってくださいね。上田先生、お世話になります。熊取 敬子様、今日の卓話楽しみにしております。吉川 美幸 会長

▶ 茂野委員長様、ようこそおいで下さいました。高瀬様元気で行ってらっしゃいませ。お帰りになった時お会いできるのを楽しみにしています。熊取様の卓話真剣に聞かせて頂きます。石田 得子会員

▶ 本日はお忙しい中、茂野様、ありがとうございます。熊取さん卓話ありがとうございます。とても良いお話で勉強になりました。犬伏 幸代会員

▶ 青少年交換委員長様、高瀬さんようこそ堺フェニックスへ。創業記念頂きました。上田 俊夫会員

▶ 熊取様卓話、楽しみにしております。高瀬様ようこそおいでくださいました。片岡 富美子会員

▶ 熊取さん卓話ありがとうございます。しっかりと楽しみに聞かせて頂きます。辻野 美智子会員

▶ 準備不足で失礼致しました。地区青少年交換委員長茂野様、派遣学生高瀬様とお母様、ようこそ 中井昭宏会員

▶ 高瀬様ようこそ堺フェニックス RC へ。今後のご活躍を期待しています!! 中井 崇嗣会員

▶ 例会を欠席してすみませんでした。会員記念日の御祝ひありがとうございます。松本 美和子会員



2011-12年度 RI会長 カルヤン・バネルジー (Kalyan Banerjee)

国際ロータリーテーマ Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

[唱和]

「Reach With into Embrace Humanity」

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「我らの生業」

会長の時間

吉川 美幸 会長

今月は、職業奉仕と、米山月間です。

先週は、米山奨学制度の事をお話ししましたので、今日は、職業奉仕についてのお話しをしたいと思います。

私は、ロータリーに入らせて頂いて、結構年月が経っていますが、つい最近まで、ロータリーに仕事を持ち込む事は、ロータリー精神にもとると思っ、口にすべきでないと感じていました。

皆さんの中でも、ロータリーに仕事の事を持ち込む事のためらいがある方も多いのではないのでしょうか？

それは、どうしてなのでしょう？

ロータリーの根源である。と言われている職業奉仕と言う言葉の中に、奉仕と言うボランティアを連想される様な単語が含まれています。

その奉仕と言う言葉が、私達には、お金の事や、経済的な事、仕事を、からませるはいけない気にさせているのではないのでしょうか。

今月は、職業奉仕月間でもありますし、私も会長として、皆さんの少しでも為になる話をしたいと思い、色々調べてみましたが、膨大な量で、まして難しく、短時間にうまく説明できそうにありませんが、私なりにお話しいたします。

ちょうど、先々週、中野奉仕委員長が、職業奉仕について、わかりやすくお話をして下さいました。

中野奉仕委員長のお話の中にもありましたが、ロータリーが出来た当時のシカゴは、極端な資本主義が花開いた時期でありましたし、過度の自由競争のもとで、法律にさえ触れなければどんな事しても、お金を儲けたものが勝ちと言われていた時代でもありました。大都会の中で、お互いがライバル同士として、足を引っ張りながら死にもの狂いでいきて行こうとするすさまじい競争社会でした。

そんな中で生活してましたので、決して、心から打ち解けあった友達が出来るわけでもありませんでした。こう言う状況の中で、何とか、心を開いて通じ合える友人を得る為に、ロータリーが生まれました。

そして、仲良くなったついでに、それを取引に利用して、

各種お祝い



会員記念日

田中 眞琴会員

創業記念日

田中 眞琴会員

上田 俊夫会員

お互いの相互扶助をすれば、お互いの事業が発展するだろうという事で、ロータリアン同志の積極的な取引によって、どんどん栄えて行ったという事です。

ロータリークラブの始まりは、お互いの職業の相互扶助の考え方から始まったと言えます。

今、お話しした事も、職業奉仕の解説の中のある一面でしかありません。

今後、何度も何度も、先日の中野委員長がお話しされたようなお話しを、繰り返し、聞かせて頂くことで、皆の中に考え方として、定着し、理解出来ていくものと思いますので、これからも、機会があるたびに、職業奉仕についてのお話をお願いしたいと思います。

私達、フェニックスに職業奉仕を置き換えてみますと、若い会員が沢山います。

ロータリーの事を一生懸命にすればするほど、自分の会社の職員から、「社長、ロータリーにばかり力を入れて、何やってんのやろ」と言われる事もあるのではないのでしょうか。

大澤ガバナーは、ロータリーでは、奉仕の最も多い者が、最も報われると言っておられました。

せっかく皆さん、ロータリアンなのでから、他のクラブにも、どんどんメーキャップ等に行かれたりして、人脈を広げ、もっと、自分の仕事にロータリーを役立てて頂ければと思っています。

これからも、フェニックスロータリーでは、お互いの職業についての理解を深めて、頑張っていきたいと思っています。

出席報告

担当 河野 強 副SAA

在籍者	29名	出席者	16名
出席計算会員	24名	欠席者	8名
出席免除者	5名	免除出席者	3名
先々週修正出席率	86.2%	出席率	67.9%

幹事報告

田辺 弘樹 幹事

ご報告：東日本災害義援金活動として、義援金BOXの中間報告です。32,093円集まりました。引き続き義援金BOXを設置致しますので、皆様ご協力お願い致します。

委員会報告

「親睦委員会からのお知らせ」

親睦委員長 向井 利之

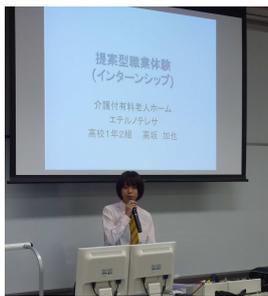
秋めいてまいりました。本日は、次週開催します秋の親睦家族例会の日程表をご参加者にお配りいたしました。10月20日丹波篠山の料理旅館 玉川楼で開催する運びと成りました。この会は、日程と場所が定まらず、決定が遅れ、皆様にご迷惑をおかけいたしました。回を重ねるごとに友好の輪を広げていきたいと願っておりますのでご多忙中とは存じますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

参加人数：(会員/13人、ご家族、関係者/6人)

そして、恒例のXmas家族親睦例会の日程は、12月17日(土)に決定いたしましたので、お知らせいたします。初芝立命館 IAC 部員と顧問の先生にもお声がけを致します。 以上

「初芝立命館高等学校 IAC 提案型位インターンシップ報告会」

新世代奉仕副委員長 中井昭宏



平成23年8月に実施しました職業奉仕体験学習の報告会が初芝立命館高校にてありました。当クラブからは、米田真理子直前ガバナー、片木 修直前会長、田辺弘樹幹事、小野範晃会員、石田得子会員、松本美和子会員、岡田正一会員、河野 強会員と私が参加してまいりました。また

地区インターアクト委員会委員長の山崎様も参加して下さいました。

他職種にわたる職業を中学生、高校生が約3～5日間で多くのことを体験し学んでこられたようすが伝わりました。

また初芝立命館高校インターアクターの高坂さんの職業奉仕体験学習先の介護付有料老人ホームの施設長様が来て頂き、感謝の涙があふれている光景が我々ロータリアンの心に強く響きました。

卓話「私とロータリー」

熊取 敬子



私をご覧の通りの83歳のこのRCで一番の年長会員でございます。昭和3年5月16日に群馬県の高崎市で生まれ、県立高崎高女を第2次世界大戦の終戦と一緒に卒業し、翌年昭和21年に勉強をするつもりで、東京の一番ボロの時に通学しておりました。それでも、それまで御法度だった、映画、音楽会、オペラ、新劇等はお腹を空かしても観て聞けたのはとても幸いでした。

学校は、大森にあった医・薬・理総合の専門学校(只今の東邦大学)で、駅から焼け跡の中をせっせと通いましたが、3学期位に千葉県習志野騎兵連隊の跡地に20校位の焼け出された大学が集まって賑やかに過ごし、その中の1校が私の学校に、一緒にコーラスをしませんかと交渉があり、名簿を作る時に“クマトリです”と可愛い顔をしているのに山賊の子孫みたいな御仁が現れました。

その人はもう卒業し、東京のサラリーマンでしたのに、寮に残って居たもので、一緒にコーラスを始めました。縁があったのでしょうか私はその人と昭和25年に結婚し、只今のクマトリ ケイコがあります。遠くに一人で参りましたが、学生時代の延長がまだ残っているのだと思いながらも50数年続き、クマトリは平成15年に亡くなりました。私は一人残されましたが、私の結婚は自分で決めたのだから結婚については最後まで責任を持つことと密かに決心し今日に至ります。

それから今まで自分のルーツにはあんなもの書けば書けるんだと気にもとめておりませんでした。橘家の本家にある家系図に、どうやら南朝の者であんな遠くまで逃げて行ったらしく、高崎城の文官におさまってその後私があるので、私はその人たちの逃げてきた道を引き返してこの南河内に戻ったのだとも理解しております。

ロータリーにつきましては、亡夫が昭和46年に堺東南RCに入会させていただき、40年程ロータリーに籍をおかせて頂いております。40余年と申しますが、80%は亡夫が居り、残る20%足らずは私がフェニックスRCに居りますので、私は本当の新米ロータリアンでございます。

亡夫の入会しました頃の堺東南RCは、大美野、狭山の名士を集め、50人位でしたが、組織もしっかりし、紳士の勢ぞろいした立派なRCでした。中に御熱心な長老がいらっしゃり皆をぐいぐいと引張っておいでになり、中に“御婦人方を大切に”のスローガンをお持ちでしたので老婦人方もよく会に出席なさり、私達若者たちを優しく引き上げて下さいました。私たちが年齢を重ねますと、お若い上田先生の奥様方がお入りになり、よくテンゴし

たものでございます。

堺東南 RC の家族会は大勢揃って致しました。中に、会員のお母様、お孫さんたちも参加なさり、宇治川の川原で小さい方達の楽しそうなお声の響きわたって来るのを皆して喜んだものでした。

私がフェニックスに入会致したのは、7年前だったと思います。堺東南 RC で家族として楽しみ行事のお手伝いをした位でしたのでロータリーの何かを少しも存じませんでしたが、少しずつ勉強させていただいて居ります。

10周年の時には、岡田様、岡本様が主にやって下さいましたので、無事に終わりましたが、大勢集まった中での出席報告は、夢中で致しました。それに職業奉仕の委員長折には商人なる故に理解するのが大変でした。今では1年間の勉強がとてもありがたかったと感謝しております。只、昨年ガバナー年度でしたのに、私事のアクシデントでお手伝いできなかったのが心残りでございます。

さて、ガバナー年度が終わりました本年、これは大変な年度を終えた今、皆様が手にしておいで週報に先週の直前ガバナーの卓話の中に、“ロータリーは決して仲良しクラブではありません。ご飯を食べるだけではありません。親睦を土壌にそこに大きな大樹を育てねばなりません。云々”と、ご立派な卓話でございましたが、これは会員皆様の入会折、インフォメーションで心の何処かにロータリーの如何をお持ちになっていらっしゃるはずで。私は先ず仲良くなって楽しく食事をし、卓話を伺ったり、奉仕に励む、そしてゆっくり自分を見直し乍ら正していけば良いのではないかと思います。如何でしょうか。

ほんの先週のことですが、私は親睦副委員長でありながら、今回の“丹波行き”を何も知りませんでした。そして、例会の始まりにはSAAさんの発言がありますが、いきなり今年のテーマを読み上げがあったり、いきなりの点鐘があり、驚くことがあります。もっときちんと例会を持ちたいと思います。卓話も沢山伺いたいと思います。一昨年に採用されたCLPに基づくクラブ運営が身についてないのでしょうか。ガバナーズクラブ時代の名残りが残っておりますのか、この頃のロータリーのやり方は上意下達、トップダウンに傾いているように感じているのは私だけではないと思います。今年度は落ち着いてタテヨコのコミュニケーションを取って親睦の土壌の上に育まれた大樹を植え、奉仕の理想をしっかりと、ゆっくりと学んでいきましょう。私は堺フェニックス RC を愛しております。

早く終わってしまいましたので、2番目のお年寄りの片木直前会長に纏めていただきたく、お願い致します。終

「CLPによるクラブ運営について」

直前会長 片木 修

ただいま、熊取会員から、ご主人がロータリークラブに入会された昭和46年ごろからのロータリーの奉仕活動や親睦活動の実態と運営に関する貴重な感想をお聞かせいただきました。クラブ会員も一定のレベル以上の社会的地位と見識を備えた会員で構成され、委員会組織も十分に機能して会員の要望に応える活動を計画し、実行されていた様子が伺われ、身の引き締まる思いが致しました。

現在、私どものクラブでは、CLP方式を採用しておりますので、委員会には委員長と副委員長は指名されておりますが、委員は会員全員がすべての委員会に属するという事となっております。

このため、今野パスト会長は、ボトムアップと新幹線方式を提言され、個々の会員の活動意欲に沿った計画を委員会で立案させ、会長はこれを調整し、実行に移すというやり方で運営されてきました。私もこれを踏襲してまいりました。

しかし、現在のクラブ運営を見ておみると、委員会組織が機能していないのではないかと疑われる節があります。各委員長は会長・幹事の意見を聞く前に副委員長の意見を、副委員長は会員の意見を汲み取りながら計画を立てて、これを理事会に提案し実行に移すべきであると考えます。各会員は忌憚のない意見を各委員会に申し出ていただき、また、遠慮なく理事会を傍聴して、風通しの良いクラブ運営に積極的に参加していただきたいと考えております。

パスト会長 今野 華

図からずも私にまで発言の場が廻ってきましたので長幼之序に従って、私の考えを少しお話をさせていただきます。

ロータリーは、よく言われているように、ピラミッド型で成り立っている、底面の会員の声を上に、順にあげていって、頂点の会長の判断を待つ。所謂ボトムアップで以って、クラブの運営は、なされるものであると私は心得ています。現状は、どちらかというところトップダウン(上意下達)の方向に傾きかけているのではと感じてるのは、私だけではないと思います。これは、一昨年に採択されたCLPに充分慣れていない所以であるかとも思われますが、ロータリーの真髄は、自ら学んで会得するもので、他から与えられるのを待っていては遅れて了うのです。

当フェニックス RC の若い元気な力を引っ張っていく為にも、ロータリーの本質を正しく踏襲した運営をお願いしたいと思います。

我クラブがもっともっと良くなって欲しいと切望するあまり、敢えて苦言を呈する失礼をお許しください。